

はじめに

伝統の継承と革新への挑戦、その双方の積み重ねにより長い時をかけて育まれてきた多彩な文化芸術は、京都のかけがえのない財産です。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック等をはじめとした日本で開催される国際的なスポーツの祭典を契機として、京都の文化芸術を支えている皆様、京都の文化芸術を愛している皆様と力を合わせて、一つ一つの取組を着実に進め、京都の奥深い文化芸術の魅力を国内外に発信していきます。

「京都文化芸術プログラム2020」とは

本プログラムでは、文化芸術が観光、産業、教育、地域等のあらゆる分野と融合しながら、平成32年（2020年）に向けて取り組むべき事業を、以下の三つの方針の下、七つの視点に基づき、展開していきます。取り組むべき事業の中でも、プログラムを牽引し、優先的に実施すべき事業を11の重要事業として掲げ、“文化芸術によるまちづくり”を一層進めていきます。

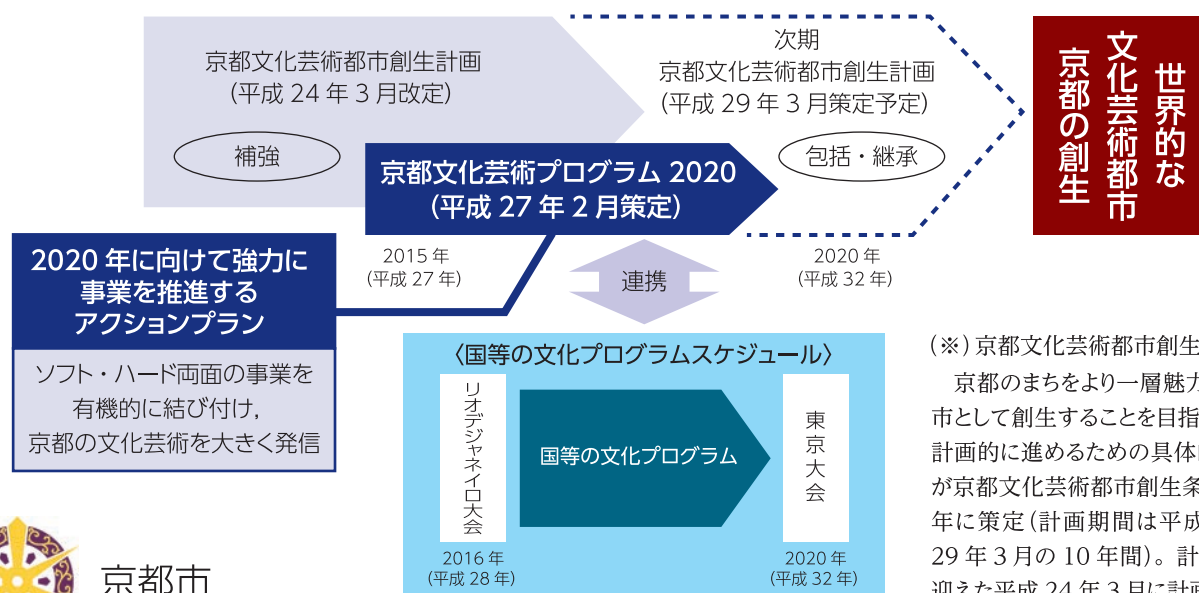
方針1 次の世代の担い手育成

方針2 今に息づく文化を守り、活かし、創造する

方針3 京都の魅力発信

プログラムの位置付け

本プログラムは現在、京都市において進めている「京都文化芸術都市創生計画」を補強するものとして位置付けており、次期創生計画へと包括・継承します。



プログラムの構成

方針

七つの視点

1 次の世代の担い手育成

育てる

日本の文化芸術の継承と創造を担う若者等の育成

果たす

全国の伝統的な文化芸術等継承のための中心的役割を果たす

2 今に息づく文化を守り、活かし、創造する

知る

市民による京都の暮らしの文化の再発見

守る

歴史的文化遺産が蓄積された都市・京都の継承・発展

活かす

京都の豊富な文化芸術資産の活用と創造

3 京都の魅力発信

広める

日本の文化芸術を、京都が中心となって国内外に発信

集う

文化芸術を「知る・体験する・学ぶ・創る」など、様々な関わり方で京都に人が集う

重要事業（11事業）

重要事業①

学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組 **育てる** **知る**

一流の演者などの技能鑑賞や、歴史的にゆかりのある場所での文化芸術の鑑賞、文化財を修理する現場や発掘調査の体験など、「ほんもの」に触れる機会を創出し、京都の文化芸術を学ぶことにより、文化芸術の次世代の「担い手」、「支え手」を育てます。

重要事業②

日本の文化芸術を牽引し、世界の人々を魅了する創造環境の整備 **育てる** **集う**

ロームシアター京都の再整備をはじめ、京都市美術館の再整備や京都市立芸術大学の移転整備など、日本の文化芸術を牽引し、世界の人々を魅了する創造環境の整備を推進します。

重要事業③

国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の創設とそれに向けた先駆的取組の実施 **育てる** **果たす**

日本が誇る伝統芸能文化を未来へと継承していくために、演者や楽器・用具用品の制作者の育成、伝統的な文化芸術におけるコーディネーターの育成等の機能を有する、「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の創設を目指します。

重要事業④

「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進 **知る**

地域に根差した暮らしの文化の魅力を再発見するとともに、平成32年（2020年）に向けて、それらを市民や、国内外の観光客に紹介し、市民が主体となったまちづくりを進めていきます。

重要事業⑤

「京都・和の文化体験の日」の実施など若者を対象とした伝統的な文化芸術に触れる機会の創出 **知る** **活かす**

次代を担う若者等が集い、京都の文化芸術について理解し、世界に発信することができるよう、大学生をはじめとする若者が、伝統的な文化芸術に触れ、体験できる取組を進めます。また、伝統産業の活性化に資することを目指します。

重要事業⑥

京都市指定・登録文化財の公開に向けた大規模な改修を推進するなど「未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業」の実施 **果たす** **守る**

平成26年度から平成31年度までの6年間で、京都市指定・登録文化財の公開に向けた修理補助を行い、東京オリンピック・パラリンピック期間を中心に一般公開し、歴史文化都市としての京都の都市格の向上を図ります。

重要事業⑦

市独自の「京都遺産制度（仮称）」の創設と、「日本遺産制度」の活用による奥深い魅力の再認識と発信 **守る** **活かす**

京都の有形無形の文化遺産を、個々に評価するのではなく、テーマやストーリーを持った文化財群として抽出し、奥深い文化遺産を立体的に再認識、再評価する「京都遺産制度（仮称）」を創設します。

重要事業⑧

文化・観光に関する情報の一元的把握及び入場券等を販売するWEBシステムの構築 **広める**

文化芸術情報サイトにおける海外向けページのコンテンツを充実するとともに、文化芸術情報、観光情報の相互にアクセスできるなど、国内外からの観光客により手軽に分かりやすく、より質の高い文化芸術情報を提供します。

重要事業⑨

「東京オリンピック・パラリンピック」等を契機とした国際的な祭典の開催 **広める** **集う**

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国際的なフェスティバルや周年記念事業を展開するとともに、平成32年（2020年）には、伝統的な文化芸術から現代芸術まで京都が持つ文化力を世界に発信し、体感できる祭典を開催します。

重要事業⑩

市民、NPO、大学、企業、文化芸術団体等との連携や支援による様々な文化芸術活動の展開 **集う**

平成32年（2020年）に向け、市民、NPO、大学、企業、文化芸術団体等による活発な文化芸術活動を効果的に広めていくため、行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組んでいきます。

重要事業⑪

アーティスト・イン・レジデンスの強化など世界のアーティストが集まる文化芸術のハブを目指した環境整備 **集う**

京都芸術センターにおいて全国のアーティスト・イン・レジデンスの活動拠点となるための取組を実施し、平成32年（2020年）には、世界中からアーティストが京都に集結するための環境の整備を進めていきます。

推進方法（連携）

市民、団体、芸術家、大学、企業等

京都府、関西広域連合等

国、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、東京都等

世界的な文化芸術都市・京都の創生

目指す姿

①文化芸術に関わる活動が盛んなまち

②日常生活シーンの中に文化芸術が溶け込んでいるまち

③文化芸術によって社会全体が活気付いているまち

④文化財が社会全体で守られ、地域の活性化にもつながっているまち

文化芸術の次世代育成



夏休み芸術体験教室（邦楽）

創造環境の整備

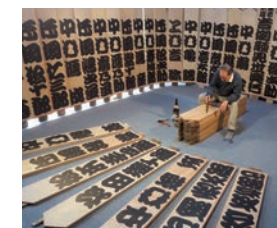


ロームシアター京都



京都市美術館

伝統芸能文化の継承



月イチ☆古典芸能シリーズ「顔見世を知る」

地域に根差した暮らしの文化



地蔵盆の様子

アーティスト・イン・レジデンス



パイアス・チェン コンサート（会場：京都芸術センター）

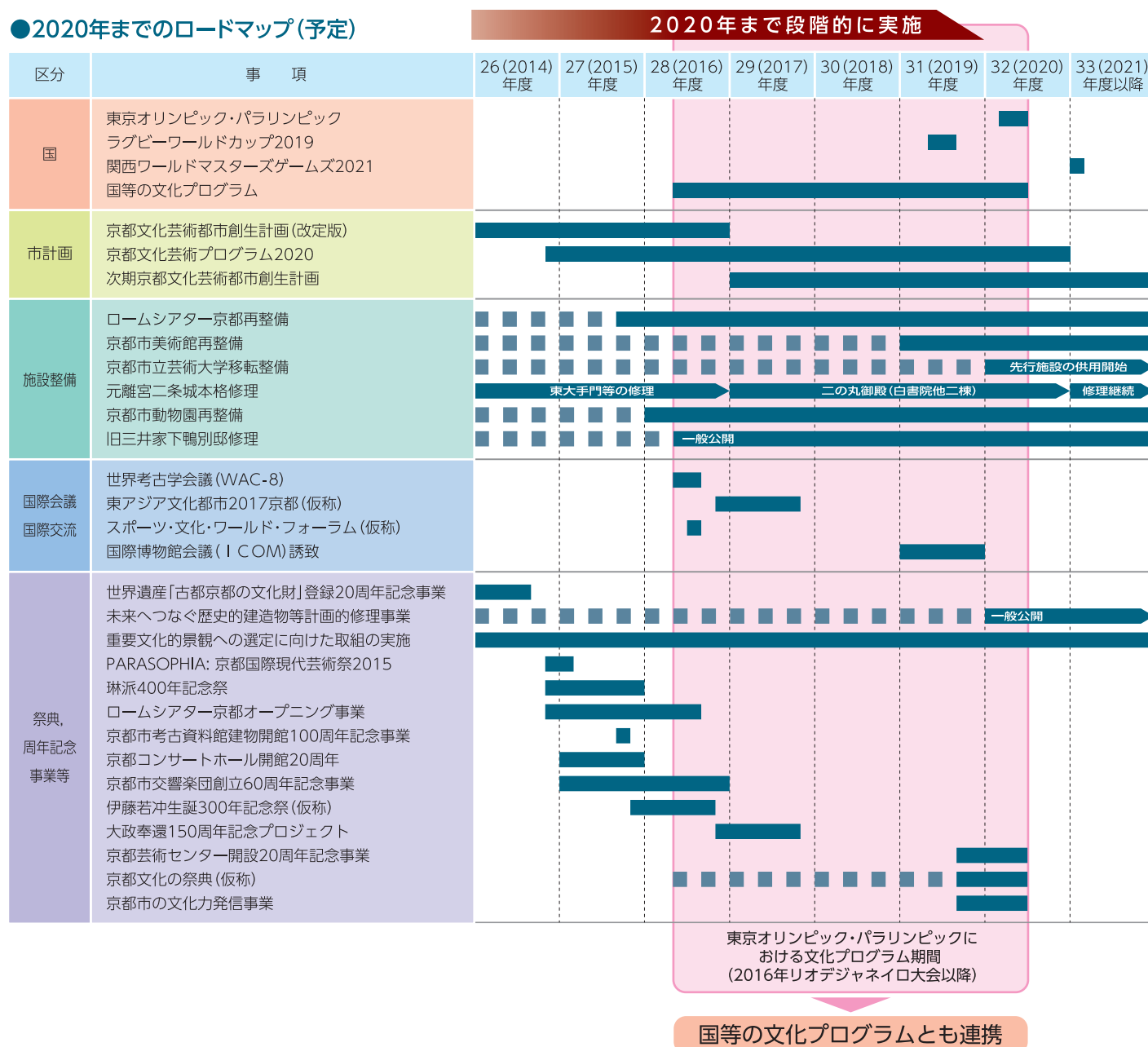
2020年に向けてのスケジュール

京都市では平成32年(2020年)までに京都を舞台にした大きな事業の実施や、京都市の核となる文化施設の整備が控えています。これらのソフト事業とハード事業が両輪となり、段階的に進め、有機的に結び付けていくことで、平成32年(2020年)に向けての機運を高めていきます。

そして、東京オリンピック・パラリンピックの開催時には、京都府、京都商工会議所等によるオール京都体制で、国等の文化プログラムや東京都とも連携し、京都の文化力を発信するイベント等を開催します。

これらの取組を、一過性のものとして終わらせず、未来に残す遺産として後世へ継ぐことができるよう、プログラムを着実に推進していきます。

●2020年までのロードマップ(予定)



平成27年(2015年)2月 発行

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課
〒604-8006 京都市中京区河原町御池下る下丸屋町 394 番地 Y・J・K ビル2階
TEL 075-366-0033
FAX 075-213-3181
京都市印刷物 第 265030 号